

基本目標 施策の方向性 施策				掲載 ページ	担当課	2024取組実績	中間改定に向けた検討									
							取組の総括 （成果・課題等）	計画期間終了（2030年度） までの方向性	具体的な予定事業 2025年度	具体的な予定事業 2026年度	具体的な予定事業 2027年度	具体的な予定事業 2028年度	具体的な予定事業 2029年度	具体的な予定事業 2030年度	今後の方向性	
			公園・緑地や公共施設などの緑化を図っていきます。	60	建設課	緑化推進奨励補助金の活用実績が、18件あった。	街路や公園等の緑化の創出が図れた。	民有地緑化を推進するために、より多くの市民の方に緑化に興味を持っていただき、実践する機会を提供していく。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①緑の街並み推進事業（春・秋） ②たねダンゴ体験講習会（春・秋） ③ガーデニング講習会を実施。①については継続、②③は新規事業。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。緑の街並み推進事業は2025年度をもって終了。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。		
			緑の街並み推進事業などにより、民有地緑化を促進します。	60	建設課	都市緑化推進事業補助金の活用実績が、3件あった。	花のまちづくり事業で商店街など民有地の緑化により街並み環境の保全、創出をすることができた。 緑の街並み推進事業について、個人等の限定的な効果に留まる面があった。 また、民有地緑化助成事業、花のまちづくり事業については、財源である瀬戸市緑化推進基金の枯渇が見込まれたため令和6年度をもって廃止となった。	民有地緑化を推進するために、より多くの市民の方に緑化に興味を持っていただき、実践する機会を提供していく。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①緑の街並み推進事業（春・秋） ②たねダンゴ体験講習会（春・秋） ③ガーデニング講習会を実施。①については継続、②③は新規事業。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。緑の街並み推進事業は2025年度をもって終了。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。		
			緑地、里山などは環境学習・環境教育の場としての活用を図ります。	60	建設課	アニマルふれあい体験を一部の自治会で開催し、アニマル除草隊を通し、環境学習の場とすることができた。	ヤギが除草作業を担うことが、環境にとって配慮した取り組みとなっていることが市民に説明できた。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	アニマル除草による、環境や人に優しい取り組みを継続していく。	緑化推進と地球温暖化のかかわりを、市民に分かりやすく広報していく。	
					教育政策課	実績なし	一部の小学校ではウッドデッキを作成したり、竹でおもちゃを作ったりと木材を環境教育に取り入れている。	学校林等を環境学習の場として活用を図ります。	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	
			森林の保全や緑化活動などへの支援に努めます。	60	農林課	瀬戸市森林整備計画に基づき、伐採届等により森林を保全	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	引き続き取組を維持していく	
					建設課	緑化推進奨励補助金の活用実績が、18件あった。	基金が枯渇するため、持続不可能な事業となったことが課題である。	民有地緑化を推進するために、より多くの市民の方に緑化に興味を持っていただき、実践する機会を提供していく。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①緑の街並み推進事業（春・秋） ②たねダンゴ体験講習会（春・秋） ③ガーデニング講習会を実施。①については継続、②③は新規事業。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。緑の街並み推進事業は2025年度をもって終了。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	都市緑化推進事業補助金を活用した ①たねダンゴ体験講習会（春・秋） ②ガーデニング講習会を実施。	
基本方針4 資源循環型まちづくりの推進																
ごみの発生抑制																
ごみを出さない行動の促進																
「ごみを出さない消費行動」の考え方の普及・啓発をします。				61	環境課（ごみ減量係）	広報等でごみ減量の取組やごみ量を継続的にお知らせすることで「ごみを出さない消費行動」の考え方を普及・啓発した。	継続的な情報発信により、ごみの減量が促進することができた。	広報等で継続的3R情報を発信し、「ごみを出さない消費行動」を促していく。	媒体における3Rの啓発を通じて、「ごみを出さない消費行動」を普及・啓発していく。	媒体における3Rの啓発を通じて、「ごみを出さない消費行動」を普及・啓発していく。	媒体における3Rの啓発を通じて、「ごみを出さない消費行動」を普及・啓発していく。	媒体における3Rの啓発を通じて、「ごみを出さない消費行動」を普及・啓発していく。	媒体における3Rの啓発を通じて、「ごみを出さない消費行動」を普及・啓発していく。	媒体における3Rの啓発を通じて、「ごみを出さない消費行動」を普及・啓発していく。		
簡易包装商品の選択やマイバッグの持参の啓発、レジ袋削減の取組を推進します。				61	環境課（ごみ減量係）	実績なし	小売事業者との連携が不十分であり、具体的な取組として実施できなかった。	小売事業者と連携し、取組を推進していく。	3Rの啓発を通じて、簡易包装の促進やマイバッグ持参を促す。	3Rの啓発を通じて、簡易包装の促進やマイバッグ持参を促す。	3Rの啓発を通じて、簡易包装の促進やマイバッグ持参を促す。	3Rの啓発を通じて、簡易包装の促進やマイバッグ持参を促す。	3Rの啓発を通じて、簡易包装の促進やマイバッグ持参を促す。	3Rの啓発を通じて、簡易包装の促進やマイバッグ持参を促す。		
長期利用の推進																
長期利用に関する情報提供・啓発をし、「もったいない」意識を高めます。				61	環境課（ごみ減量係）	官民連携協定に基づき㈱パローによるフードポスの設置、㈱マーケットリサーチ社が行う「おいくら」の啓発を行った。	官民連携による「もったいない」意識の向上を図った。	様々な3Rの啓発を通じて、「もったいない」意識の向上を図っていく。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	
食品ロス・生ごみ削減の促進																
生ごみ減量に取り組む家庭への支援施策を継続します。				61	環境課（ごみ減量係）	瀬戸市ごみ減量化容器等購入補助金を96件1,497,600円交付した。	補助金を通じて、継続的な支援を実施することができた。	補助金を通じた支援を実施するとともに、生ごみ減量による効果の啓発を合わせて行う。	引き続き補助金の交付による支援を実施する。	引き続き補助金の交付による支援を実施する。	引き続き補助金の交付による支援を実施する。	引き続き補助金の交付による支援を実施する。	引き続き補助金の交付による支援を実施する。	引き続き補助金の交付による支援を実施する。		
3きり（食ベキリ・水キリ・使いキリ）運動や30（さんまる）・10（いちまる）運動を推進します。				61	環境課（ごみ減量係）	ポスターによる啓発を実施した。	継続的な啓発を行うことができた。	継続的な啓発を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	媒体を通じた継続的な情報発信を行っている。	
食材を無駄なく使う方法などを紹介するエコ・クッキング教室などを開催します。				61	環境課（環境保全係）	エコ・クッキング教室の開催	食品ロス、生ごみの肥料化、3Rについての講義を行った。もう少し多くの人に参加してもらえるよう工夫が必要である。	講座への満足度は高いため、広報の仕方等を工夫しながら事業を継続していく。	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
フードバンクやフードドライブなどの活動の紹介やイベント等を実施します。				61	環境課（ごみ減量係）	㈱パローと協定を結び、市の施設やパロー店舗にフードポストを設置し、NPO法人を通して収集物のフードドライブを行った。	官民連携によるフードポスの設置によるフードドライブを促進を行った。	さらなるフードポスト設置を目指すとともに、フードドライブの取組の啓発を行っている。	NPO法人と協働し、フードドライブの取組結果を啓発していく。	未定	未定	未定	未定	未定		
再使用（リユース）の促進																
民間リユースショップや不用品を引き取ってもらえるホームセンターの紹介等、情報提供や普及啓発に取り組めます。				61	環境課（ごみ減量係）	官民連携協定に基づき㈱マーケットリサーチ社が行う「おいくら」を市のホームページで啓発することによって、リユースの取組を推進した。	マーケットリサーチ社との官民連携により不用品に関し5件13品をつなぐことができた。	更なる官民連携を模索し、リユースの促進を行っている。	新たに民間事業者1者と民間事業者によるリユーススポット等の設置に向けた調整を行っている。	未定	未定	未定	未定	未定		
リユースに関するイベントの情報提供・開催をします。				61	環境課（ごみ減量係）	実績なし	実績なし	リユースに関するイベントについて調査し、情報提供を行い、また、必要に応じてイベント開催を検討していく。	県が実施するSDGs子ども・ユースフェアを通じてリユースの取組の啓発を行う。	未定	未定	未定	未定	未定		
リサイクルの推進																
資源物分別ルールの徹底																
媒体を最大限に活用した啓発資料の充実を図ります（紙媒体・web媒体・マスメディア・対面形式など）。				63	環境課（ごみ減量係）	広報せとやホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」等によるごみ分別の啓発を行った。	媒体を通じた効果的な啓発を行うことができた。	媒体を通じた継続的な情報発信を行うとともに、啓発資料を積極的に展開し、市民が活用できるようにする。	毎年発行する「清掃事業の概要」に新たに「ごみの行方」ページを追加して、分別した先がわかるような仕組みをつくる。	未定	未定	未定	未定	未定		
転入者・外国人等に対して、機会や対象を適切に捉えた情報提供をします。				63	環境課（ごみ減量係）	ごみ分別辞書の6か国語対応版（日本語・中国語・英語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語）を作成し啓発を行った。	ごみ分別辞書の6か国語対応版（日本語・中国語・英語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語）を作成し啓発を行った。	ごみ分別辞書やWEB等を通じた啓発を継続的に実施していく。	ごみ分別辞書（6か国語対応版）を外国人転入の際、市民課で配布する外国人セットに封入し、渡す。	未定	未定	未定	未定	未定		
パトロールの実施やごみ出しルールを知らない・守らない排出者への直接指導により、違反ごみ対策を実施します。				63	環境課（ごみ減量係）	不法投棄の疑いが通報を受けた際は、維持管理課等の他課組織と連携して、迅速に現地確認や早期パトロールを行った。	定期的なパトロールの実施や地域と連携して啓発看板の設置を行うことができた。	引き続き監視やパトロールを行うとともに、地域と連携して看板の設置等を進めていく。	監視やパトロールを行うとともに、地域と連携して看板の設置等を進めていく。	未定	未定	未定	未定	未定		

基本目標 施策の方向性 施策		掲載 ページ	担当課	2024取組実績	中間改定に向けた検討									
					取組の総括 (成果・課題等)	計画期間終了(2030年度) までの方向性	具体的な予定事業 2025年度	具体的な予定事業 2026年度	具体的な予定事業 2027年度	具体的な予定事業 2028年度	具体的な予定事業 2029年度	具体的な予定事業 2030年度	今後の方向性	
		資源回収機会の活用												
		事業所と連携した資源回収の普及促進を図ります。	63	環境課(ごみ減量係)	㈱パローと協定を結び、その一つの取組として、資源回収の普及促進をしていくこととした。	官民連携による取組実施に向けた基盤をつくることができた。	官民連携による資源回収の仕組みをつくるなどして、普及促進をしていきます。	㈱パローとの協定に基づき、資源回収の仕組みを構築します。	未定	未定	未定	未定	未定	
		資源回収に対しての奨励金制度を検証・点検し、効果的に実施します。	63	環境課(ごみ減量係)	子ども会等を中心とした非営利組織97団体へ、3,619,800円の奨励金を交付した。	奨励金の交付により資源回収を促進することができた。	奨励金制度をさらに効果的に展開するために、広報啓発を実施し、効果的に実施できるようにしていく。	2024年度に引き続き奨励金を交付予定。	制度設計の点検を行い、更に効果的に実施できるような見直しを検討し、奨励金交付を予定している。	見直し後制度設計による奨励金交付を予定している。	見直し後制度設計による奨励金交付を予定している。	見直し後制度設計による奨励金交付を予定している。	見直し後制度設計による奨励金交付を予定している。	
		既存の資源回収拠点(資源リサイクルセンターなど)への持込可能品目の拡大を検討します。	63	環境課(ごみ減量係)	市内に設置した臨時資源回収拠点において、市内の既設資源回収拠点では回収できない品目の回収を行った。	資源リサイクルセンターで概ね持込可能な資源物を臨時資源回収拠点において回収できる体制を構築した。	既存資源回収拠点でさらに効果的、効率的な資源回収を行えるよう、官民連携も含めた多角的な検証を行い、持込可能品目の拡大をしていく。	臨時資源回収拠点において、資源リサイクルセンターで回収可能な資源物をすべて回収できるようにする。	既存資源回収拠点での効果的、効率的な資源回収を行うため、民間事業者との情報交換を行う。	未定	未定	未定		
		新たな資源回収拠点の新設を検討します。	63	環境課(ごみ減量係)	剪定草、枝の回収を行うとともに、市内に臨時の資源回収拠点6カ所を設置して、資源回収を促進した。	臨時資源回収拠点の設置により、資源循環を促進するとともに、市民の利便性向上を図った。	資源回収拠点について利便性の高い仕組みを構築していく。	効果的、効率的な資源回収ができるよう新たな資源回収拠点設置の検討を行う。	未定	未定	未定	未定		
		資源回収品目拡充に向けた検討												
		リサイクル技術の進歩や生活スタイルの変化に合わせて、現行の資源回収体制を見直します。	63	環境課(ごみ減量係)	市内に臨時の資源回収拠点6カ所を設置して、資源回収を促進した。	臨時資源回収拠点の設置により、資源循環を促進するとともに、市民の利便性向上を図った。	社会情勢も踏まえ、新たに分別する資源等を含め資源回収体制の見直しを行う。	効果的、効率的な資源回収体制について検証を行う。	効果的、効率的な資源回収体制について検証を行う。	新たな資源回収体制を確立する。	未定	未定	未定	
		プラスチック資源(プラスチック製品含む)などの分別収集を検討します。	63	環境課(ごみ減量係)	尾張東部衛生組合及び組合市(瀬戸市、尾張旭市、長久手市)においてプラスチック資源循環に向けた連携協定を締結し、民間企業も交えた共同研究を実施した。	事業者との共同研究を通じて、具体的なプラスチック資源循環の仕組みの検討を行った。	プラスチック資源循環の促進に向け、組合市、近隣市町、事業者との密な情報交換を行い、効果的効率的な分別収集を構築する。	共同研究結果や国の動向を踏まえ、プラ新法に基づく資源循環の方策について検討を深めていく。	組合市や近隣市町との情報交換を通じて、具体的な分別収集の方針を定める。	方針に基づき、具体的な分別収集の仕組みを構築する。	年度内を目標に分別収集を開始できるよう、市民啓発を含めた調整を進めていく。	分別回収を実施する。	分別回収を実施する。	
		燃えないごみの中に含まれる資源化できる品目につき、資源化の方法を検討します。	63	環境課(ごみ減量係)	効率の良い資源化に向けて、回収後の小型家電をさらに分別するなどの検討を行った	資源リサイクルセンターやクリーンセンターと連携し、資源化に向けた検討を行うことができた。	小型家電の高品位品や低品位等の徹底した分別を行うとともに、さらなる資源化に向け、都市鉱山に関する啓発を行っていく。	引き続き、不燃ごみを調査し、手選別による小型家電を分別を行う。	未定	未定	未定	未定	未定	